

事業者向け

放課後等デイサービス おひさま 自己評価表

令和元年度

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4	1		・子どもの机の配置など、個々で対応していく必要がある。 ・十分な広さが確保されていると思う。
	2	職員の配置数は適切であるか	3	2		・曜日によって、職員体制がギリギリな所があった。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	5			・大きな(急な)段差がない為、配慮されていると思う。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	5			・事前の打ち合わせと終了後の細かな気付き等の周知が来ている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4	1		・意向等が明確でないところから、アンケートよりも面談や直接のやり取りをもとに務めている部分が多い。 ・アンケートは毎年実施されている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	3	2		・自分自身が把握できていないところがある。 ・公表されている。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	3	1	・自分自身が把握できていない。 ・第三者評価は実施できていないが、県の定期支援など、外部講師からの評価やアドバイスをもちに、改善に努めている。(質の向上を目指している)
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5			・スキルアップ研修や個々の研修の参加など、確保がなされている。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4			未回答1 ・保護者のニーズだけでなく、子どもにも焦点をあて、楽しく取り組めるものを考えている。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4			未回答1 ・1つにツールを絞らず、その合うものを見つける為に様々な方法を提示している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	3	2		・お便り作成者が大まかな活動内容を中心に考えていることが多い。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4	1		・今までのプログラムを振り返りながら、子どもに興味を持ってもらうものを考えている。 ・同じ活動を行うこともあるが、前回と比較して成長を確認することが出来ている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	3	1	1	・長期休暇のスケジュールを組む際、個々よりも集団をメインに考えてしまうことが多かった。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	2	3		・平日は、個別活動の十分な確保が難しいところがあった。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4	1		・その日の細かい部分での配置や職員の動きの確認を全体で行うようにした。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5			・片付け等、何かをしながらかではあるが、一人一人気付いたところをその日の内に共有できるよう徹底出来た。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	3	2		・子ども一人一人細かい記録をとるまですることが出来ていなかったように思う。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4	1		・計画について、見直す時期の意識を職員一人一人が持たなければならない。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	3	2		・主にどの部分というものが定まっていないところがあるため、子どもにも伝えていく必要がある。	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4			未回答1 ・現場職員と児発管で参加することにより、情報が伝えられていると思う。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	5			・学校お迎え時に子どもの最近の様子まで含めて、共有することが出来ている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	3	2		
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3	2		・保育所や幼稚園とは直接的なやり取りはないことから連携を図るため努めなければならない部分だと思う。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	2	2	1	・自分自身が把握できていない部分である。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	1		・児童発達支援との情報共有を行い、分からない部分は聞いている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		4	1	・秋祭りなど、学園としての機会はあるものの、全体的には少ない。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	1	4		・自分自身が把握できていない。 ・こども部会だけでなく、大津支部会などにも力を入れて頑張り、町内の事業所との連携も出来ていたと思う。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5			・保護者が話しやすい雰囲気づくり、また事業所で子どもが頑張ったこと等もお伝えしている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3	1		未回答1 ・参加の人数は決まっているが、実施されている。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4	1		・保護者がわかりやすい説明とは言い難いところがあり(自分自身)、理解が十分ではないところがある。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	3	2		・自分では応えるのが難しい場合は、前場に持ち帰り適切な助言を伝えることが出来るようにしている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	3	1	・座談会はあるものの日時の部分で参加できる保護者が限られているところがある。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5			・現場と管理者への報告をすぐに行い、対応を伺うようにしている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5			・お便りを通じて、近々でお伝えしなければならないことを発信出来ている。
	35	個人情報に十分注意しているか	5			・十分注意出来ている。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4	1		・子どもの心情の代弁を行ったり、頑張ったことを伝えるようにしている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4	1		・秋祭りなどのボランティアの方も含めて、地域に開かれたものを出来ている。 ・地域貢献事業の研修会や各種研修に地域の事業所を招待したりもしている。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	3	2		・いざという時の自分自身の把握に不十分な点があるため、職員がすぐに対応できるよう意識しなければならない。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5			・定期的に避難訓練の実施が出来ている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	3	2		・研修だけでなく、日頃から現場での対応など意識するようにしている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	3	2		・子どもに対しての十分な説明については、足りないところがあるように思う。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4			未回答1 ・アレルギー表を提出してもらうことにより、把握と対応をすることが出来ている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4	1		・放デイの中での会議で周知することが出来ているが、他部署のは共有出来ていない部分がある。
計			152	53	5	

